

(様式第4号)

上田市国民健康保険運営協議会 会議概要

- 1 審議会名 上田市国民健康保険運営協議会
- 2 日 時 平成29年8月3日(木) 午後1時15分から午後3時30分まで
- 3 会 場 上田市役所6階大会議室
- 4 出席者 田畑裕康会長、越田明子副会長、古川悦子委員、尾澤圭子委員、大久保秀子委員、倉沢和成委員、宮下暢夫委員、岸秀幸委員、戸島喜幸委員、飯高良造委員、北村康史委員、近藤久代委員、齋藤登思子委員、堀内吉孝委員、山野井功委員
- 5 市側出席者 母袋市長、近藤福祉部長、細川国保年金課長、浅野収納管理課長、石井健康推進課長、土屋丸子市民サービス課長、堀内真田市民サービス課長、下村武石市民サービス課長、春原国民健康保険担当係長、橋詰国民健康保険担当係長、坂口国民健康保険担当係長、井澤国民健康保険担当主査
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ ~~一部公開~~ ・ ~~非公開~~
- 7 傍聴者 0名 記者 2名
- 8 会議録作成年月日 平成29年8月30日

協議事項等

- 1 開会(事務局)
- 2 あいさつ(母袋市長)
- 3 委員及び事務局職員の紹介(細川課長、事務局職員は自己紹介)
- 4 会長及び副会長の選出
 - ・会長に田畑裕康委員を選出
- 5 諮問
 - ・国民健康保険事業の運営について、母袋市長から田畑会長へ諮問書を提出
- 6 会議録署名人の指名
 - ・田畑会長から、齋藤委員と山野井委員の2名を会議録署名人に指名
- 7 議事
 - (1) 諮問内容の説明
事務局：諮問内容について資料により説明
 - (2) 質疑等
委 員：標準保険料率の第3回の試算が8月に出されるようであるが、過去に提示された試算については、現状と比較してどうか。
事務局：一部報道にあった自治体とは違い、そこまでかけ離れたものではなかったが、国から市町村へ入る公費等、反映されていない部分が多く、また、県も公表については慎重であるため、細かい部分までの分析は行っていない。

委 員：資産割は無くしていく方向にあるのか。
事務局：今回の国保の制度改正は国の指導で行われているものであり、最終的には保険料率を県下統一

を目指すものと考えている。

ただし、いきなりの税率の統合は難しいことから、市町村ごと標準保険料率を算定することに決定している。

上田市では現在、4方式で賦課しているが、全国的にも資産割を廃止する傾向もある。資産割が廃止された際の被保険者の負担も含め、今後、ご検討いただきたい。

委員：資産割を廃止とした際、その減収となる保険料をどこへ割り振るかが検討の中身ということによいか。

事務局：上田市が県に納める納付金と市が行う保健事業に必要な金額、また、標準保険料率の設定により状況が変わってくるが、本日は具体的な数字を示すことができない。今後、県からの提示を待ち、内容を分析してお示ししていきたいと考えている。

委員：県から示される保険料率については、上田市民の医療費も反映されているのか。

また、県全体となったとき、他の自治体の医療費分も含まれるのか。

事務局：市町村ごとに医療費指数を算出し、医療費の高いところは納付金も高く、低いところは少ない納付金で済むという仕組みとなっている。

委員：上田市の標準保険料率の算定に必要な保険料総額に、上田市が行う保健事業費をどの程度含むことかできるのか。上限があるのか。

事務局：上限は特別設けられていない。

(3) 今後の開催日程について

事務局：今後の開催日程について資料により説明

8 その他

委員：特定健康診査の受診率の向上に向けて、検討いただきたい。

事務局：県内77市町村中70位と受診率が低い状況にある。

市の広報や民生・児童委員のブロック会議等で啓発を促している。

委員：今回の制度改正の内容等についての広報をもっとするべきではないか。

事務局：なるべく早いうちに示していきたいと考えている。

委員：収納率向上と保険者努力支援の観点から収納率については答申書に、入れるべきと考える。

事務局：市では毎年、重点目標をたて収納率の向上に取り組んでいる。今後、担当課と検討していく。

9 閉会（事務局）

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。